

# 防災、学校にエアコン、市民ホールなど質問

## 台風12号の被害緊急対応を



吉田ふくじ議員

7月25日に発生した台風12号は、関東地方から西に進み、例の「アストナリ」、7月28日には神奈川県西部に位置する小田原市、真鶴町、湯河原町は大きな被害を受けました。

日本共産党小田原市議団は現地調査を行い、加藤市長に6項目の「台風12号の被害への緊急対応の申し入れ」を行いました。

吉田議員は一般質問で緊急対応の6項目、①小田原漁港の損壊の状況を調査し、その原因を究明し速やかに議会に報告すること②清

水川の土砂撤去③防波堤一部損壊の補修④公民館浸水による損壊の補修⑤大量のごみ、海藻の撤去⑥国道135号線のマンホールの修理について質問しました。特に台風12号の被害を教訓として、交流促進施設は開業前であったが、開業後、台風や津波などの緊急・非常事態発生時の利用者の安全確保はどの様にしていくのか質問しました。

### 国府津駅周辺事業について

- (1) 進捗状況
- (2) 自転車等駐車場の計画内容
- (3) 国府津駅前窓口コーナーと国府津駅前ふらっとスポット生涯学習室を存続させることについて質問した。

国府津駅前ふらっとスポットには、住民票の写し等の証明書を取得することが出来る窓口コーナーと生涯学習室が設置されているが、

## 土砂災害対策から市民のいのちとくらしを守る小田原市の施策について



関野たかし議員

【問】今年3月の北海道地震のみならず、小田原市でも平成19年9月上曾我の土石流等の被害があり、土砂対策が大切。土砂対策防止法は土砂災害の恐れのある区域を指定し、一定の開発行為の制限、建築物の構造規制などの対策を行っている。

区域指定で通称レッドゾーンでは特定の開発行為については県知事の許可が必要、構造規制がされる。レッドゾーン内既存建築物で補強改築の補助制度を小田原市で進めるべき。

【答弁】レッドゾーン内補強改築に対し、国と県、市等が負担し合い支援する制度がある。県にも負担していただけるよう、県内市町村と連携を図り、市内で調整したい。

【問】県で進めている市内5カ所の砂防事業の進み具合は。

【答弁】上曾我地域の山岸沢は年度内に用地協力が得られれば、来年度から、本体工事をしたいとの事。

### より良い市民ホール建設のため

【問】ホールにとって最も大切である音響について十分な検討が必要。事業者任せにすると、後々大きな後悔をする。音楽会社の協力が必要と求めてきたが、世界のトップレベル

平成31年3月15日をもって、業務が終了することになっていく。しかし利用率が高く、存続を望む声が多いことから新しい自転車駐車場の建設に合わせ、窓口コーナーと生涯学習室の機能を整備することとはできないか伺う。さらに、証明書交付サービスの機能の代替えとして、コンビニエンスストアと郵便局で市の窓口と同様に丁寧なサービスの提供が受けられるかと質問した。

【答弁】自転車駐車場は約1300台を予定している。受益者負担の観点から、有料化を前提に検討している。集会機能は自転車駐車場と合わせ整備することとしている。

の永田音響の協力を得ることになった。しかし、大ホールと小ホールが近接しており、市民説明会の中で太鼓などの大音響の場合、大ホールの音が小ホールに聞こえてしまうという問題が明らかになった。この事態についてどの様に意識しているのか。防音対策を強化すべき。遮音効果30デシベル以上、室内騒音NC20以下を確実に確保すべき。

【答弁】和太鼓など大きな音は、ホール間の遮音90デシベル以上を確保し、低音が小さく聞こえる程度。遮音を含む音響設計は永田音響の協力を得ると事業者から聞いている。

【問】大屋根の素材について、前設計では極めて寿命が長く、書き替えの必要としないチタン亜鉛合金だったが。

【答弁】様々な素材について比較検討している。

【問】久野霊園の合葬式墓地建設は

【答弁】予定地の測量が完了し、基本設計等の進め方を打ち合わせ。

## 学校に、生活保護利用世帯に、命を守るためのエアコン設置を支所等廃止は代替機能が担保されていない、このままでは市民は不安



田中りえ子議員

【問】小中学校の普通教室等へのエアコン設置を評価

【答弁】小中学校の冷房設備について、日本共産党小田原市議団は、平成13年にせめて保健室に設置すべきと求め、その後普通教室等への設置を求めてきた。現在、すべての小中学校の保健室に設置され、音楽教室等の特別教室にも順次設置されている。今回子どもたちが日中多く過ごす普通教室等に市は設置することを決断したが、そのことを評価。

【問】小中学校の熱中症対策に暑さ指数(WBGT)を統一基準に

【答弁】暑さ指数・WBGTは人体の熱バランスに影響する湿度、気温などを取り入れた指標。ぜひこれを市内小中学校の「統一基準」に。そのための熱中症指数計を購入し、各学校に配布すべきと質問。

【問】全ての学校に熱中症指数計をきちっと配布していく。

【答弁】全ての学校に熱中症指数計をきちっと配布していく。

【問】普通教室等のエアコン設置には膨大な予算が伴う。文部科学省は平成28年度予算の概算要求に交付金の増額を決めたがそれだけでは不十分。国に補助率の引き上げ等を求めるべきと質問。

【答弁】様々な機会を通し補助率引き上げ等働きかけたい。

【問】国で、「一時扶助における家具什器の見直しについて」さらに見直しを求めるべき

【答弁】この見直しは生活保護利用者の方に、一定の条件のもとエアコン購入に当たり、購入費用に5万円の支給等をするもの。支給対象は平成30年生活保護利用開始4月1日以降としている。そこで、どのように周知しているか、すべての生活保護利用者を対象にするよう国に更なる見直しを求めるべきと質問。

【問】対象の被保護世帯に案内状の送付、家庭訪問時に説明。全国的な問題、国の動向を注視していく。

【答弁】支所等11カ所廃止による代替機能は担保されていない。

【問】廃止の支所や中央連絡所は介護保険の申請手続き等23項目取り扱っていた。新たな住民窓口となるコンビニエンスストア（以下略）(コンビニ)や郵便局は4項目しか取り扱わない。

### 無料法律相談

担当弁護士  
岡村三穂

11月13日(火)  
午後1時より

12月4日(火)  
午後1時より

※予約制です。相談される方は、関野、田中、吉田までお申し出ください。

### 法律相談・市政・生活相談は下記へご連絡ください

TEL/Fax 住所  
関野たかし 42-0316 曾我岸90  
田中りえ子 35-5389 扇町1-6-2  
吉田ふくじ 49-3759 南鴨宮3-9-8  
(市役所 市議団控室 33-1789)  
Ex-ℓ(代表) tanakarioko@nifty.com



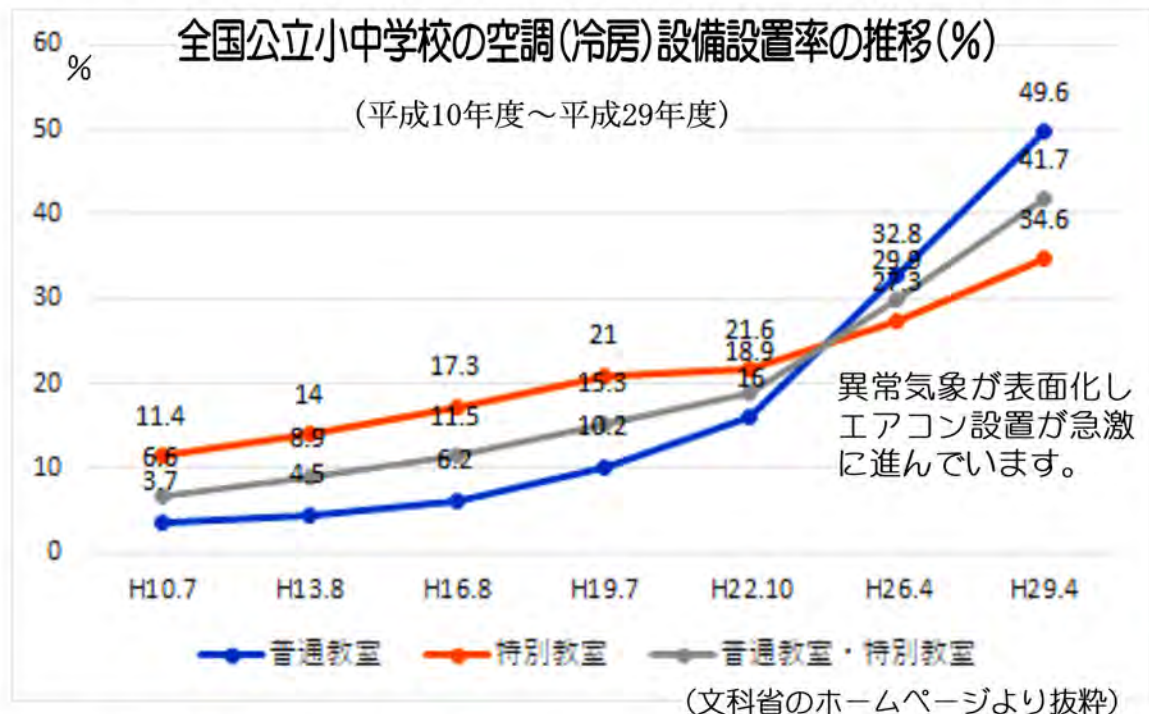
# みなさんの要望が実現しました

## 小田原市立小・中学校の普通教室にエアコン設置へ

小田原市立小・中学校の普通教室に来年7月に冷房運転が出来る様に、エアコン設置の予算が9月議会で決まりました。

### 17年前より提案、議会・市民の声大きな流れに

日本共産党小田原市議団としては17年前より、継続して、市内小・中学校にエアコン設置を求めてきました。昨今の猛暑、異常気象もあり、エアコンの設置がより一層求められ、児童・生徒の命にも関わり、学習環境の整備が求められました。今年8月、若いお母さん、ママ、パパの皆さんや市民や全国の皆さん方から15,000以上の署名が寄せられ、エアコン設置を求める陳情も市議会等に提出されました。9月議会では全会一致で予算が可決されました。今後特別教室への設置が必要です。国にもエアコン設置を行う予算を手立てするよう、党市議団としても皆さんと連携して求めています。党の国会議員団も引き続いてエアコン設置に取り組んでいく事を表明しています。



### 小田原小中学校における空調(エアコン)設置状況 (平成30年2月1日時点)

小学校	普通教室	管理諸室	特別教室 (25校325室)	中学校	普通教室	管理諸室	特別教室 (11校154室)
整備校数 (全25校)	0校	25校	29室	整備校数 (全11校)	0校	11校	16室
整備率	0%	100%	9%	整備率	0%	100%	10%

(市の資料より)

## 小学校就学援助金 新入学学用品費前倒し支給へ

今まで、市民の皆さんから要望され、日本共産党小田原市議団としても求めて参りました。

就学援助金の小学校の新入学用品費、ランドセルなど入学への準備費一人当たり40,600円が、平成31年4月1日入学前までに支給されることが、

9月議会の補正予算で認められました。日本共産党小田原市議団でも、6月議会、補正予算を組んでも、平成31年の新入学児に対応する様求めています。保護者の一定収入以下の方が、申請すれば支給されます。

### 新入学学用品費前倒し(入学準備品)支給について (平成30年6月調査時点)

市	前倒し支給の実施または検討状況	支給開始の時期(予定も含む)	増額対応	前倒し支給の実施または検討状況	支給開始の時期(予定も含む)	増額対応	
1 小田原市	検討中	検討中	40,600円	中学校	H28年3月	47,400円	
2 南足柄市	H29年度より開始	H30年3月			H29年度より開始		H30年3月
3 平塚市	検討中	H31年7月			H30年3月		
4 秦野市	検討中	検討中			H30年度より開始予定		H31年3月
5 川崎市	H31年度より開始予定	H31年3月			H31年3月		
6 横浜市					H29年度より開始		H30年3月
7 相模原市					H30年3月		

## 日本共産党小田原市議団は みなさんと力をあわせて実現しました

### ◆ 福祉・教育・子育て支援

- 「保護なめんな」ジャンパー問題を批判し、ケースワーカーの増員及び市民に寄り添った生活保護行政を促進
- 小・中学とも要保護、準要保護児童生徒の新入学用品費前倒し支給実現
- 小・中学校の普通教室にエアコン設置 音楽教室等特別教室にも順次設置
- 小学校2年生まで35人以下学級に。3年以上で35人以上の学級が多い学校に少人数指導スタッフ配置
- 小学校1・2年で30人以上の学級にスタディ・サポート・スタッフ配置
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、関係機関と連携し、いじめ・不登校対策の強化
- 待機児童の解消を求め、認可保育所の定員増と小規模保育所の開設

### ◆ 暮らし・医療・介護

- 一般会計からの繰入金を増額を求め、国保料引き下げ
- 2016年10月から中学校卒業まで小児医療費助成を実施
- 市立病院の医師・看護師の確保と県西地域の基幹病院としての役割堅持
- 重度障害者医療費助成制度の堅持
- 介護給付費等準備基金を取り崩し、介護保険料の値上抑制(据え置き)
- 特別養護老人ホームの建設促進

### ◆ 防災・環境

- 木造住宅耐震化、土砂災害対策等促進
- 再生可能エネルギー導入促進
- ごみの資源化・減量化促進

### ◆ 平和・まちづくり・議会

- 市中心部の大型再開発や施設統廃合につながる南足柄市との合併を阻止
- 同時に県からの保健所移管など多額の経費を要する中核市への移行中止
- 市民ホールの基本計画について、市民と協力し多々問題点の改善を図る
- 市内各駅のバリアフリー化促進
- 安保法制(戦争法)に反対する議員有志で講演会開催

### ◆ 産業・財政

- 住宅リフォーム助成制度の拡充
- 鳥獣被害対策の強化